



森林ふれあい情報

令和7年7月 第70号

林野庁中部森林管理局
木曽森林ふれあい推進センター
〒397-0001
長野県木曽郡木曽町福島5473-8
TEL: 0264(22)2122
E-mail: kiso-fureai@maff.go.jp

梅雨の時期を迎えましたが、6月としては記録的な暑さとなった地域もあります。長期予報では今年の夏は暑さと梅雨の時期の大雨に注意が必要になるそうです。6月1日からは、職場における熱中症対策が義務化され様々な取り組みが開始されました。

希少植物の開花調査を実施

毎年、当センターでは木曽郡木曽町の城山^{じょうやま}国有林に自生する希少野生植物の開花調査を行っています。今年に関しては早春の積雪の影響で4月上旬に寒い日が続いたため、どの花も例年より1週間ほど遅く開花を確認しました。



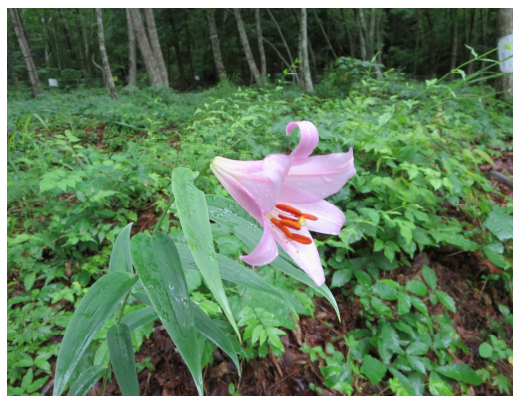
カタクリの花 (4月24日)



ヤマシャクヤクの花 (5月7日)



カザグルマの花(5月20日)



ササユリの花(6月16日)

「城山史跡の森」ササユリ生育地の電気柵設置

木曽郡木曽町の城山^{じょうやま}国有林（通称：城山史跡の森）のササユリ自生地では過去に野生動物による食害が発生したことから、毎年電気柵を設置して、被害防止を図っています。

今年も地域の希少植物保護のために協力をお願いした木曽町の職員3名と共に5月14日（水）に設置作業を行いました。

作業は支柱立てと柵張りから始め、通電に支障となる雑草等の障害物が柵に触れないよう剪定鋏で雑草を刈り取って全長約109mの電気柵が無事に完成しました。

このような被害防止対策も含め、今後も地域の方々と連携した希少植物の保全活動等に努めて参ります。



電気柵の設置作業

加茂農林高校の自然観察実習

5月12日（月）に岐阜県立加茂農林高校^{ぎふけんりつかものうりんこうこう}の2年生40名が春の自然観察実習として、木曽郡上松町小川入^{おがわいり}国有林内の赤沢自然休養林を訪れました。

日本三大美林の1つである木曽ヒノキ林を見学することで、林業の歴史や文化の理解を深める機会となりました。

当センター職員の説明では、今年6月3日^{しきねんせんぐう}に行われる伊勢神宮の式年遷宮に伴う御杣^{みそま}始祭^{はじめさい}についても紹介され、20年に1度の行事に心魅かれる生徒達の姿がありました。

ヒノキ大樹^{たいじゅ}では、昔、神宮備林^{じんぐうびりん}として管理されていた時にあった「大樹台帳」^{たいじゅだいちょう}に載っていた樹齢約300年にもなる大樹を見学し、その大きさを実感して頂きました。

大樹は木曽谷全体で18,000本が選ばれ、赤沢周辺では2,690本が指定されていました。

これらの大樹は、江戸時代に城や城下町を造成するにあたり強度伐採が行われ、残された木が母樹として天然更新で育ち、300年後の現代に美林として成林したものです。

今回の自然観察実習を通して得たものを今後の学習に活かして頂けたら嬉しい限りです。



ヒノキ大樹を見学する生徒達

おんたけさんるく

御嶽山麓パズルラリー第2弾を開始しました。

平成 26 年の御嶽山噴火災害以降低迷する木曽地域の観光産業への支援及び森林散策の普及対策として、国有林内の遊歩道を中心に平成 28 年度からパズルラリーを実施しています。

御嶽山麓パズルラリーは、令和 2 年 8 月から実施し今年度、おんたけロープウェイの開業に併せて 5 月 16 日（金）から第 2 弾を開始しました。

パズルラリーは 4 分割したパズル絵のピースを御嶽山麓にある 4 箇所のパズルポイントを巡って集め、集めたピースの写真と応募用紙を送っていただくと当センターから貼り板と台座をお届けしてラリー達成となります。

パズル絵は丸山木材工業株式会社のご協力を得て、江戸時代の浮世絵師「歌川広重」が描いた「木曽海道六拾九次」のうち「木曽路之山川」を採用しています。

早速、パズルラリー開始翌週の土日に横浜からご家族で参加された女性から応募があり「場所が離れていたのでは公共交通だけでは達成が難しかったと思った。ラリーとしては面白いので続けてほしい。」とのお声をいただきました。

一方、赤沢自然休養林パズルラリーは、4 月 26 日（土）の開園に併せて、昨年度に続き第 10 弾を再開し 6 月 13 日（金）にパズルが無くなったため終了となりました。

開園から第 10 弾終了まで長野県、東京都、愛知県、京都府等から 100 名弱の方にご参加いただき、「良かった。」の感想に加えて「森林に触れ合えて良かった。」「素晴らしい林でした。」「スタンプラリーだけでも楽しいのに自然の中だともっと楽しい。」などのお声もいただき嬉しく思います。



赤沢自然休養林 パズル箱



御嶽山麓パズルラリー第2弾ポスター



御嶽山麓第2弾パズル

赤沢自然休養林を含む木曽地方の国有林内に「木曽悠久の森」が設定されてから昨年度で 10 年を迎えました。

第 11 弾はこれを記念したパズルを準備していますので、樹齢 300 年の豊かな森林に触れその歴史について学び、また、パズルラリーにもご参加いただきたいと思います。

他にも「^{なかせんどう}中山道木曽十一宿パズルラリー第2弾（北部のみ）」も開催しております。（平成 29 年 11 月から実施）

20年に一度の祭事「御^み杣^そ始^は祭^{じめさい}」

三重県の伊勢神宮で20年に一度、社殿等を建て替える第63回「神宮式年遷宮^{しんぐうしきねんせんぐう}」に向けて木曽ヒノキを伐り出す「御杣始祭」が、6月3日木曽郡上松町の小川入国有林内で執り行われました。

「御杣始祭」は伊勢神宮の御神体を納める器「御樋代^{みひしろ}」の材料となる木曽ヒノキを山から伐り出す神事で、神宮や地元関係者などおよそ350人が見守るなか、ご神木として選木された高さ約26メートル、直径60センチを超える推定樹齢300年の木曽ヒノキを伊勢神宮の内宮用と外宮用として2本伐り出しました。

ご神木の伐採は古くから伝わる3方向から斧を入れて伐採する「三つ紐伐り^{みつひもぎり}」という技法で行われ、「杣夫^{そまふ}」と言われる地元の三つ紐伐り保存会と伊勢神宮の熟練者が内宮用と外宮用に分かれて斧を振っていました。

あいにくの雨の中ではありましたが、古式にのっとり2本の木がたすき掛けのように交差して倒すために、慎重に方向を定めながら約1時間半かけて見事に伐採されました。ご神木が地響きを立てて倒れた瞬間、参列者から大きな歓声と拍手が起り無事に「御杣始祭」が終了しました。

4日～6日にかけては、綺麗に化粧^ひ掛けされたご神木を町内で曳いて練り歩く「お木曳行事^{おきひき}」が行われ、地元の方を始め多くの方に披露されたご神木は伊勢に向けて旅立ちました。

木曽地域の森林は古くから神宮との関わりがあり、今回の祭事も木曽の森林・林業を伝えていく中で欠かせない歴史の一つであることから、当センターとしても森林教室等の場を通して多くの方に知っていただくよう努めていく考えです。



杣夫による三つ紐斬り



お木曳を待つ「ご神木」